

# 町民参加と協力で未来のまちづくり



▲ 4月1日から芳生苑・健楽苑の指定管理者が社会福祉法人ゆうゆう（以下「ゆうゆう」）へ変更となり、新たな福祉施設体制に向けて更に研修などが進められます

**A** 周知、説明が十分との意見を受け止め、町民への積極的な周知と丁寧な説明に努める。

**Q** 「事業の進め方がゆうゆうの言いなりでは」と町民の声もある。より一層分かりやすく説明を。

**A** ゆうゆうの基準（入札等）で改めて設計会社が決定される。

**Q** 基本設計はt e c o（東京）だが、実施設計は別の設計会社か。

ふくしのまちづくりによる新たな福祉施設は令和7年度実施設計へ令和8年度から建設工事、令和10年度より運用開始に向けて事業を進めます。

**ふくしのまちづくり関係  
（1億3810万円）**

## 福祉施設整備事業補助 ..... 1億2,870万円

- ① 実施設計・・・建築、構造、設備、外構、積算、備品選定、成果品製本など
- ② 開発設計・・・北海道への開発行為の許可手続き（切土、土盛、整地など）
- ③ 確認申請・・・北海道又は指定確認検査機関への建築申請手数料など

## ふくしのまちづくり基本構想推進 ..... 949万円

- ① ふくしのまちづくり事業推進補助（道の補助1 / 2申請予定）
- ② 地域おこし協力隊（ローカルベンチャープロデューサー）1名
- ③ 職員のスキルアップのための研修旅費、会議負担金など

令和7年度の一般会計・特別会計・企業会計予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（酒向委員長・小野田副委員長）に付託され、3月10日・11日の2日間、慎重に審議し原案どおり可決しました。注目事業や主な質疑応答を一部抜粋して掲載します。

（定例会での審査報告は10ページ）



令和7年度予算の詳細は広報わっさお4月号をご覧ください

# 令和7年度予算総額 69億6,845万円

前年度比 3億1,890万円増 (↑4.8%)

## 共に支え合い自立した生活ができる社会

### ふくしのまちづくり事業

(295万円)



▲Instagramで情報発信しています

ふくしのまちづくりサミットやラボの開催、かたくり荘の活用検討、和寒町の魅力発信などを町・ゆうゆうと共にしています。

また、令和6年発足のまちづくりサークル「わっさむのいろいろう」に対しても事業補助を行います。

**Q** 会員はどのように集めたのか。報酬はあるのか。

**A** サミットやラボ参加者に声掛けし、ふくしのまちづくり推進事業に賛同して立ち上げたサークルで、会員は9名。報酬は考えていない。

### 社会福祉協議会事業

(1138万円)

和寒町社会福祉協議会の運営費や人件費、各種地域福祉事業への補助を行います。

芳生苑内の事務所は、4月から和寒調剤薬局隣の町立診療所職員住宅に移り、町職員1名を事務局長として派遣します。

**Q** コロナ禍前に社会福祉協議会主催で行われていた「ふれあい昼食会」や温泉バスツアーを復活してほしい」との声があるが。

**A** 事業継続を協議した経緯はあるが「参加者が限定されている」、「参加できない方はどうするのか」など課題も多いため中止。

参加費値上げや自治会・老人クラブ等の地域単位での開催など、様々な手法を社会福祉協議会とこれからも検討していく。



町内の買い物など移動支援や配食事業の拡大、災害避難システム等を今後の課題と考えています。これからも誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」のため活動していきます。和寒調剤薬局隣に事務所を移転したのでお気軽にお越しください。

和寒町社会福祉協議会

移住者を増やし問題解決・活性化



▲協力隊の更なる活躍を期待！

地域おこし協力隊  
(4113万円)

国の制度見直しにより協力隊員の報酬が増額されました。この経費は国の特別交付税で賄われます。

**Q** 農業分野2年目となる令和7年度の活動予定は。

**A** 3月末で1名退員するが、昨年と同じくミニトマトと冬野菜を予定。農家の方々の負担にならない研修を受けられるよう計画している。

令和7年度 地域おこし協力隊 活動・募集状況

名称	定員	内容
新規就農者確保・育成	2人	1名：現在2年目 1名：募集中 就農準備に関する活動
子育て支援クリエイター	1人	現在2年目 子育て支援や子どもの居場所づくりの研究
魅力発信クリエイター	1人	4月から活動中 特産品や観光資源を活かした町の情報発信
移住定住クリエイター	1人	募集中 移住・定住につながる企画・活動
デジタル創出クリエイター	1人	募集中 和寒町内のDX推進
ローカルベンチャープロデューサー	1人	募集中 ふくしのまちづくり基本構想の業務協力

応援者を増やして財源確保

ふるさと納税  
(4000万円)



▲企業からいただいた寄付の有効活用を

**Q** スタッフの確保や民間委託等で体制を整える考えは。

**A** 民間委託は今のところ考えていない。返礼品等の充実を整えることを優先する。

**Q** 寄付の目的に「ふくしのまちづくり」を追加し活用を。

**A** 寄付の目的追加や企業版ふるさと納税への働きかけ等、方向性を含めて検討する。

ふるさと会交流事業  
(128万円)

令和7年度は「東京和寒会」が2年ぶりに開催予定です。

**Q** 各和寒会(旭川・札幌・東京)の会員数が減少傾向だが、会員募集の情報を積極的に発信すべきでは。

**A** 広報誌等で周知しているが、ふるさと納税をされた方への案内など検討する。



▲昨年10月に開催された札幌和寒会

# まちをPRして経済効果を拡大

**フードツーリズム**  
(1148万円)



▲2月どさんこプラザ販売会(札幌)のようす

**Q** 物産展に出役している役場職員の負担が大きいので、もう少し生産者を巻き込んで。

**A** 産業振興課職員を中心に14名ほどで物産展の対応をしている。今後は柔軟な形で行える体制を整え、フードツーリズム推進協議会のあり方を含め方向性を検討する。

**(仮称) 大収穫祭**  
(200万円)

昨年度で極寒フェスティバルが廃止になったため、和寒町の宣伝につながるイベントを今年秋以降に開催予定です。

**Q** イベントの規模や内容は。

**A** 予算は極寒フェスティバルと同額を見込んでおり、公民館での開催を予定。現在、観光協会を中心に協議している。

**A** 正式に決まっていないが、特産品PRにつなげていきたい。

**Q** 塩かりんとう「塩カリッ」製造終了後、新商品の検討は。

かぼちゃや越冬キャベツ、農産加工品などの特産品を札幌等で開催される物産展に出展しPRをします。  
食と観光情報案内所(ひだまり)の販売費用も含まれます。

# 子どもの国際化と芸術文化公演会

**台湾への中学生修学旅行**  
(378万円)

新型コロナウイルスの影響により中止となっていた中学3年生の台湾修学旅行(5月12日~16日)の旅費20万円の7割を補助します。

**Q** 保護者全員の理解は得られたのか。

**A** 保護者説明会等を重ねて承諾をいただき、全員が行く予定をしている。

**芸術文化公演会**  
(30万円)

**Q** 令和7年度の予定は。  
**A** 大湊(青森県)自衛隊による演奏会を7月頃に予定。



▲昨年の陸上自衛隊第2音楽隊コンサート(公民館)

## 学校図書ボランティア、その後の経過は?

**Q** 以前、窪田議員が「学校へ図書館司書設置」の文書質問をし、教育長から「図書ボランティアを募集しており、パート・アルバイト等の専属スタッフ設置を検討する」と回答があったが、その後の経過は。

**A** 小学校8名、中学校4名より協力を受け、学校からも「大変助かっている」と伺っている。今後の体制は、小中学校と協議を重ねていく。

文書質問の内容は2月発行議会会だよりで

# 上下水道管の管理は大丈夫？

## 上水道漏水調査

**Q** 水道管の水漏れで断水した自治体があるが、町内水道管は定期的に検査しているのか。

**A** 毎年漏水調査を行っており、令和6年度は5件、1時間あたり5.7トン見つかり修繕している。

**Q** 水道断水時の対応は。

**A** 漏水箇所の特定を行い、断水区域の水道使用者に給水袋の配布などで対応している。

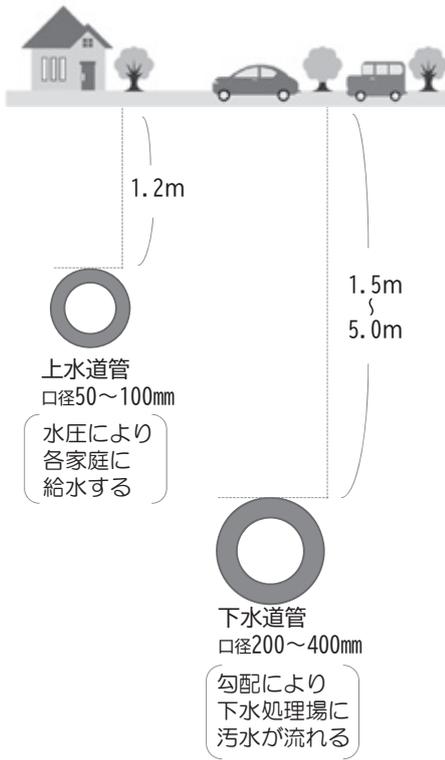
## 下水道管渠調査

**Q** 埼玉県内の道路陥没事故は下水道管の破損が原因とみられているようだが、本町では事故の心配はないか。

**A** 下水道は小さい管渠のため汚物が溜まりにくく、硫化水素が発生しにくい構造なので今のところ心配はない。

また、令和7年度に管渠調査を予定している。(前回調査…平成15・平成25年度)

※管渠(かんきょ)…給水や排水を行うために作られた水路の総称



▲町内上下水道管の標準的な埋設状況

# 災害の被害を最小限に

## 樋門管理

(192万円)



▲速やかな樋門操作で減災を

**Q** 樋門管理は、町が道から委託を受けて個人と業者に再委託しているが、令和7年度から試験的に道が直接委託すると聞いた。それぞれの件数は。

**A** 町内にある77基の樋門のうち個人31名に51基、業者1社に12基を町から管理委託し、道は業者1社に14基を直接委託する予定。

**Q** 昨年7月大雨災害時での樋門操作が間に合わなかったこと

を受けて今後の対応は。上川総合振興局との連絡体制は。

**A** 町として働きかけはしているが、道の決まりもある中で柔軟に対応できるように改善に向けて取り組んでいく。

## 自治会館エアコン

(100万円)

自治会館エアコン設置費用の1/2を補助します。

(上限10万円×10自治会)

**Q** 避難所指定を考慮して補助をするのか。設置箇所や種類の制約はあるか。

**A** 災害時の想定はしておらず、設置場所や機器も自治会判断とする。

仲町、大通自治会は自治会館がなく公共施設を使用しているため、エアコン設置に向けて検討する。

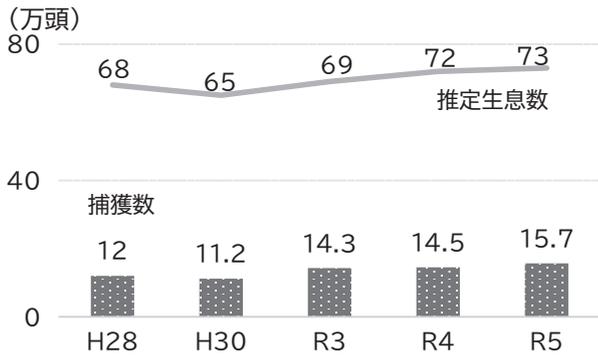
増加するシカの捕獲費用、国へ要望を

有害鳥獣被害対策

(1429万円)

猟友会に所属するハンターが適正に捕獲した場合にエゾシカ1頭につき3万円、ヒグマ1頭につき5万円を補助、新規狩猟免許取得者に6万円以内の助成をします。

猟友会と協議の結果、令和7年度からヒグマ出没による町からの出動要請や箱わな設置に伴う活動の補助を増額します。

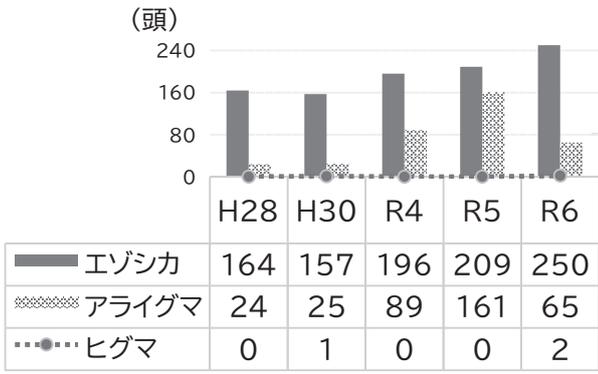


▲北海道内エゾシカ推定生息数と捕獲数推移

捕獲数増えてもシカ減らず

**Q** 温暖化によりシカが急増している。農業被害や人的被害の軽減と対策強化のためにも、国や道に財政支援を求める必要があるのでは。

**A** 猟友会会員に対して人件費だけでなく発砲した際の補償など整備を進めるため、関係部署と情報共有しながら対応する。



▲和寒町内有害鳥獣の捕獲数推移

空き公営住宅やICTの有効活用

空き公営住宅対策



▲財源確保につながる有効活用を

**Q** 公営住宅の空きが多い中、草刈や除雪等の人件費、燃料単価の増加で維持管理が難しい状況だが、住宅料や共益費改定の見直しは。

**A** 全道的に空き公営住宅は多く、各自治体や道と協力しながら国への要望を検討する。住宅料は、町全体の使用料問題とあわせて考えなければならぬ。

電子申請システム

(170万円)

24時間いつでもスマートフォン等でオンライン申請できるシステム（LOGOフォーム）を導入します。費用の1/2は国から補助されます。

**Q** いつ頃からこういった申請ができるのか。

**A** お知らせ等で案内し、募集する行事の申込受付をオンラインで実施。昨年試験運用で50件の実績があり、今後増やしていく。

保育所ICT推進

(236万円)

保護者の利便性向上や事務軽減を図ります。欠席等の連絡や保育所からのおたより、行事予定等をスマートフォン等で一括確認できます。

※ ICT…情報通信技術を活用したコミュニケーション